

市長と語る会(H27. 6. 18白糸台文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
1	防災については、隣の自治会と協力して、避難の誘導として、避難場所まで旗を持って行進している。	最初にみんなで集まる場所を、それぞれで決めていただけるとありがたい。
2	地域で問題で挙がってくるのが、自治会に対して、若い人たちの協力を得られないことや、近所付き合いの希薄である。文化センターなどで地域の方たちとつながっていけば活動がしやすいと感じている。	自治会や町会に加入する人が少なくなりつつあり、危機感を持っている。それは、子育てで精一杯であったり、メリットがわからないなどの原因があると思う。それから、色々な団体が熱心に活動されているが、横の連携がとれていないと感じている。市民協働は、1つの目的があるわけではなく、あくまで手法や理念であって、抽象的な捉え方をせざるを得ないが、まず個人に協働の意識が芽生え、それから団体同士が協働の連携を模索するものになる。
3	昔は、市からお金をいただいて公園清掃をしていた。清掃後の話は中身が濃く、話が出ると実現できるということもあったが、今はなくなってしまった。	今年は11月を市民協働推進月間にする。そこでいろいろなPRを自治会等をお願いさせていただくと思うが、そこで一番考えられるのが清掃だと思っている。
4	四小の南東の京王線のガードが2メートル20センチしかないの、知らない人が通ると事故が起きるのではないかと。下を掘れるらしいので、対策をとったほうがよいのではないかと。	至急確認をする。
5	文化センターは、自治会を中心として、11の圏域は動かすべきではないと思う。防災とゴミについては、圏域ごとに取り組んでいくことになると思う。	それぞれの分野から代表するメンバーがコミュニティ協議会に入ってきて、それが地域の声として上がっていく形にできればと思う。 また、1～2カ月後に、文化センターごとに防災連絡会議(仮)を呼びかける。これは、各自治会の防災担当者に出てきていただいて検証を積み重ねていくもので、その中からリーダーが生まれ、そのリーダーが、コミュニティ協議会の役員となれば、防災や環境などに特化した方々が横軸で入ってくると考える。
6	高齢者が一生懸命イベント等を行っている姿を見てもらえるような環境づくりを、小柳町一から五丁目の自治会で協力をして組んでいる。	西武線があるので、五丁目のほうと一緒に事業を行うのは大変なことだと思う。
7	ダストボックスは、不法投棄もされ、デメリットのほうが大きかったが、ゴミ捨てるのときにみんなで会話ができる場所でもあった。また、ゴミ当番があり、掃除道具を回すことによって、自分が自治会に入っていることを感じることもできた。	ダストボックスがなくなって、自治会の意味がなくなったという方もいらっしゃる。確かにデメリットのほうが多かったが、地域の共通の課題を解決していくという点はよかったと思う。

市長と語る会(H27. 6. 18白糸台文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
8	新しく建っている住宅がかなりある。そこで、自治会として、どうすれば交流ができるかと考え、防犯パトロールを行ったところ、いろいろな話ができ、地元の人と新しい人の交流ができた。	ありがとうございます。こちらの地域も、大きな農家が相続になって、少し土地が売られて、そこに新しく住むという方が非常に目立っている。
9	熱中症要援護者登録している方で、町会に入っている方と入っていない方がいる。入っている方は町会で見守りグッズなどを配付し、入っていない方は民生委員にお願いして配付していた。民生委員は法律の裏づけがあり、きめ細かいこともできると思うが、町会は個人情報保護法などの関係で、あまり踏み込んだことができない。	
10	子どもたちの通学路の危険箇所点検を毎年やっているが、去年と今年で同じところが挙がっている。子どもに関することなので、早目に対処していただきたい。	危険箇所と指摘されたところがそのままになっているのはよくないので、あとで場所を教えてください。
11	色々なイベントが行っているが、市民の意識が希薄なので、市民全体で共通の話題になるようなものがあればよいと思う。	知恵を出して、原点に戻って仕事をしないといけませんが、絶対的なものはなかなかない。皆さんに協力いただいている防災防犯などが、きっかけとしては適していると思う。
12	行政はアナログなことが多い。たちは多くの利用者がいるが、予約や登録の方法がアナログなので、アプリケーションなどで利用できるようにしてもいいのではないか。また、ほかの自治体では、災害時に、通信が途絶えてもアプリケーションが稼働して、どこに行ったらよいかを示してくれるものがあると聞いた。	1月から市の基幹システムの変更もあり、システムの変更等が可能か検討したい。 なお、J:COMと協定を結び、J:COMの機械を家の中に置くことにより、防災行政無線で流した情報が自宅で聞けるようにした。メールやほかの方法で、瞬時にどこまで情報を伝えるのがよいのかは研究する。
13	(12の意見に関して) どこに避難したらいいか決めていただかないと困る場合もある。	まずは皆さんで最初に避難する場所を決めていただきたい。全員が学校に来てしまうと大変なことになり、家が壊れてなく備蓄品もあるのに非常食を取りに来られてしまうとより大変なことになる。
14	(13の意見に関して) 小学6年生の授業で図上訓練というものを行っている。子どもはどこで遊んでいるかわからないので、まずは畑や公園などの空間があるところに逃げて、その後は、そこに来た大人と相談するという流れにしている。	そのとおりで、地震により電信柱が倒れたり、道がゆがんでいるかもしれない。市としても、防災ハンドブックを配るだけでなく、配ってからが始まりだということを、よく考えなければいけない。

市長と語る会(H27. 6. 18白糸台文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
15	地域の団体の活動は、リーダーの熱意に左右されると思う。最近、リーダーのなり手がおらず、組織が自然消滅すると聞いた。そこで、行政でリーダーを育てる機関や機会をつくってもらえればと思う。	
16	一つの団体だけの活動ではなく、地域の活動に参加して地域の方とつながりを持って、一緒に子どものことも考えてもらえる環境が大切だと思う。コミュニティ協議会を通して、地域が一体感を持って活動できているので、なるべく予算の削減がないようにお願いしたい。	承知した。
17	民生委員と自治会の協力委員で見守りをしているが、自治会の役員は1年ずつ変わることが多いので、連携が難しい。	
18	白糸台文化センター圏域に住んでいても、白糸台文化センターが学区内ではない子どもは、白糸台文化センターに遊びに来て友達がいなかったため、押立文化センターで遊んでいる。こういう状況はどうかと思う。	
19	青年会としてお祭りを行っているが、地域のつながりという意味でも1つの役割を果たしていると思う。	
20	防犯カメラを学校に設置してほしい。防犯カメラのおかげで犯人が捕まったという話もあるので、検討していただければと思う。	
21	団体へのバスの貸出を無料で行っているが、今年度は、市のバスは廃止して、民間のバス会社に委託し、台数も減っていると聞いた。今後はどうなるのか。	バスは事務事業点検を行った際に、廃止という結論になった。ただ、市としては、市民の皆さんの利用状況を考えて、続けている。台数が減っているのは、バスの運転手の過剰労働が問題になり賃金が上がったため、予算額は減っていないが、台数が減っている状況なので、ご理解いただきたい。

市長と語る会(H27. 6. 18白糸台文化センター)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
22	<p>白糸台3丁目のグローリオマンションを建てる時は、近隣にも開放するという条件にし、建ぺい率をオーバーして建てたと聞いた。しかし、開放どころか、配達の手や緊急車両も入れないようになっている。建てたときの条件を住民や管理人に知ってほしい。</p>	